

2022年 第2回尾張記録会 大会参加における遵守事項

2022/08/02 尾張陸上競技協会

本大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、(公財)日本陸上競技連盟「陸上競技活動開催のガイダンス」に従い実施する。なお、本大会は従前のおり体調管理チェック表の提出を必要とする大会として実施する。大会運営方法もガイダンス制定以前の通常の競技会とは異なるため、しっかりと確認し、遵守すること。遵守されない場合、今後の競技会開催に影響が出ることもあり得るので、各団体で選手・保護者等関係者に周知すること。

1 感染防止のための全般的な注意事項

- ①大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。
※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。
- ②運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。
- ③3密(密閉・密集・密接)回避行動を心掛ける。
- ④ウォーミングアップは個別に行うことがのぞましい。
- ⑤競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。
- ⑥更衣室の滞在は短時間にする。
- ⑦運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑧ゴミは各自で必ず持ち帰る。
- ⑨フィールド競技の滑り止め(炭酸マグネシウム)はできるだけ各自で持参する。
- ⑩競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ⑪声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ⑫競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する(競技場滞在時間をできるだけ短くする)。
- ⑬競技者以外の応援者・観客の競技場内(スタンドを含む)への立ち入りを禁止する。
- ⑭ホームストレート前スタンドは競技役員控え場所として使用するので、各団体での使用を禁止する。各団体は芝生スタンドを使用し、密を避ける工夫をする。
- ⑮参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする(体調管理チェック表【大会後/個人管理用】を活用する)。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する(症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する)。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑯大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

2 観戦について

- ・本大会は無観客で実施する。フェンス外からの観戦についても禁止する。
- ・競技場内に入場できるのは、当日の出場選手・競技役員・補助員のみとする。マネージャーは入場できないため、各団体にて対応を工夫すること。
- ・引率教員で入場できるのは、補助役員として競技会運営に協力できる者のみとする(補助員数を必要最小限に絞って実施するため、円滑な大会実施のため引率教員は競技会運営に協力をしてください)。

3 競技場への入場について

(1) 出場選手

- ・入場口はスタンド西側の通用口1か所のみとする。
- ・競技場内への入場可能時間は、競技時間表記載の各種目競技場入場可能時間以降とするので、その日の最初の出場種目の時間に合わせて来場する。
- ・感染拡大予防のために会場への来場人数の分散を図るため、来場時間を厳守する（競技場外の密を避けるため、来場時間より前に競技場前に待機することを禁止する）。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」（以下、「体調管理チェックシート」という）の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・再入場の際は「体調管理チェックシート」を再提示し確認を受ける。
- ・「体調管理チェックシート」は1日目用、2日目用があるため、該当の日にはちのものを使用する。2日間とも出場する選手においても、それぞれ準備する。
- ・「体調管理チェックシート」の回収は、その日の最終出場種目の招集時におこなう（最終出場種目の招集以降は競技場外に出ると再入場できない）。

(2) 補助員

- ・入場口はスタンド西側の通用口1か所のみとする。
- ・競技場内への入場可能時間は、競技時間表記載の補助員入場可能時間以降とするので、担当分担で午前か午後かを確認し、補助員集合時間に合わせて来場する。
- ・感染拡大予防のために会場への来場人数の分散を図るため、来場時間を厳守する（競技場外の密を避けるため、来場時間より前に競技場前に待機することを禁止する）。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・再入場の際は「体調管理チェックシート」を再提示し確認を受ける。
- ・「体調管理チェックシート」は1日目用、2日目用があるため、該当の日にはちのものを使用する。2日間とも補助員として参加する場合においても、それぞれ準備する。
- ・「体調管理チェックシート」の回収は、補助員腕章返却時におこなう（返却後は速やかに競技場外に退場し帰宅する）。

(3) 引率教員

- ・入場口は競技場1階「本部室」入り口1か所のみとする。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場の際、競技役員（役員係）より補助役員の部署の指示を受け、腕章を受け取る。その際に「体調管理チェックシート」は提出する。
- ・再入場の際は、腕章を提示して入場する。
- ・「体調管理チェックシート」は1日目用、2日目用があるため、該当の日にはちのものを使用する。2日間とも補助役員として参加する場合においても、それぞれ準備する。

(4) 競技役員

- ・入場口は競技場1階「本部室」入り口1か所のみとする。
- ・入場の際は「【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場の際、競技役員（役員係）より出席確認を受け、その際に「体調管理チェックシート」は提出する。
- ・審判員章を着用する。ない場合は役員受付時に腕章を受け取る。
- ・再入場の際は、審判員章または腕章を提示して入場する。
- ・「体調管理チェックシート」は1日目用、2日目用があるため、該当の日にはちのものを使用する。2日間とも競技役員として参加する場合においても、それぞれ準備する。

4 団体受付について

- ・本大会は、1日目・2日目のそれぞれ、団体受付が必要となる。受付場所は本部前に設置する。
- ・受付の際に、「チーム控え場所位置図」に自チームの控え場所の位置が分かるように○印をつけて提出する。

5 各団体控え場所について

- ・各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。競技場メインスタンドおよび芝生スタンド以外のスペースは使用禁止とする。また、競技場外の場所（いちい信金スポーツセンター敷地内の木陰など）についても使用禁止とする。
- ・控え場所ではマスクを着用し、密が避けられるように各団体が配慮する。

6 招集について

(1) トラック競技

- ・招集場所を3・4番倉庫（100mスタート地点横）に設置する（昨年度までの競技会時と場所が異なるので注意する）。
- ・競技時間表記載の招集時間に合わせて招集を受ける（招集場所での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）。
- ・招集の際、「体調管理チェックシート」を提出する。ただし、当日に複数種目に出場する選手は「体調管理チェックシート」の提出はその日の最終出場種目の招集時とするので、それより前の種目の招集時は「体調管理チェックシート」を競技役員に提示する際に、このあとに他の種目にも出場することを申し出て、チェックを受けたのち返却してもらう（その後の種目の招集時に再度必要なため）。
- ・400mまでの距離種目（スタートからフィニッシュまですべてセパレートレーンで行われる種目）については、腰ナンバー標識は使用しない。それ以外の種目については該当の腰ナンバー標識を招集時に受け取る。
- ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集時に提出する。
- ・招集時には密を避け、前後の間隔を確保して整列する。また、マスクを必ず着用する。
- ・招集完了後は、スタート地点集合時間に合わせてスタート地点に集合し、最終コールを受ける（スタート地点での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）。

(2) フィールド競技

- ・招集は競技場所で行う。
- ・競技時間表記載の招集時間に合わせて競技場所に集合し招集を受ける（招集後はそのまま公式練習・競技へと進行するため、競技に必要な用具はすべて持参する）。
- ・密を避けるため、招集時間より前に競技場所に集まらない。
- ・招集の際、「体調管理チェックシート」を提出する。ただし、当日に複数種目に出場する選手は「体調管理チェックシート」の提出はその日の最終出場種目の招集時とするので、それより前の種目の招集時は「体調管理チェックシート」を競技役員に提示する際に、このあとに他の種目にも出場することを申し出て、チェックを受けたのち返却してもらう（その後の種目の招集時に再度必要なため）。

7 競技中および競技終了後について

(1) トラック競技

- ・スタート位置へは手洗いを実施してから集合する。
- ・スタート地点集合以降、競技終了まで、競技役員の指示に従い行動する。
- ・最終コールはスタート地点集合時間以降に実施するので、出場選手は必ず最終コールを受ける。
- ・スタート地点付近では密を避け、常に周囲との距離を保つ。
- ・レース中以外はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ・腰ナンバー標識を使用する種目に出場した競技者は、フィニッシュ後直ちに、腰ナンバー標識を係員に返却する。
- ・フィニッシュ後は、直ちに手洗い場（スタンド西側通用口付近）に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。

- ・競技終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する（競技終了後は競技場内に留まることはできない）。

(2) フィールド競技

- ・競技場所へは手洗いを実施してから集合する。
- ・招集開始以降、競技終了まで、競技役員の指示に従い行動する。
- ・待機場所では密を避け、常に周囲との距離を保つ。
- ・競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ・競技中は器具を触った手で口や目を触らない。
- ・投てき競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。
- ・競技終了後は、直ちに手洗い場（スタンド西側通用口付近）に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。
- ・競技終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する（競技終了後は競技場内に留まることはできない）。
- ・走高跳および棒高跳の選手については、終了後の手洗いに加え、帰宅直後の入浴を勧める。

8 その他

- ・記録の発表は上位競技者のみ放送にておこなう。記録の掲示はおこなわないが、尾張陸上競技協会の本大会記録発表用 Twitter（「尾張陸協記録速報」@owarikiroku）に期間限定で掲載する。なお、後日、リザルトを愛知陸上競技協会HPに掲載する。
- ・競技場入場後のトイレは、スタンド下トイレのみ使用可とする。
- ・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。
- ・競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。
- ・ゴミは必ず各自で持ち帰り、自宅で処分する。
- ・厚生労働省が提供する、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）。
- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。